

天満屋倉敷店 2018年11月の画廊予定

◎4階美術画廊

会 期	内 容
10/31(水)～11/5(月)	<p>備前 細川敬弘 陶展</p> <p>備前焼若手作家細川敬弘先生の新作品展です。細工物の置物を得意とする備前焼作家・竹村永楽の孫として祖父の仕事を見て育ち、備前陶芸センター修了後は祖父に1年間師事。伝統を踏襲しながらも独創的かつ使い手の立場に立って制作される作品は高い評価を得ています。今展では花器、茶陶、酒器、食器など約100点を出品いたします。</p>
11/7(水)～11/12(月)	<p>～彩漆画の世界～ 藤田武志・久美子 漆二奏展</p> <p>徳島市在住の漆工芸家 藤田武志・久美子ご夫妻の作品展です。ざっくりとした肌合いとつや消しの塗り、彩り豊かで明るい色調の作品の数々を一室に展覧いたします。土と漆を混ぜて作る下地を荒い刷毛目で地模様とし、その凹凸を活かして独特のドライな質感を生み出しています。ダイナミックな彩漆画は蒔絵と螺鈿を使って描かれ、日本画や油絵とは違った味わいがあります。重箱・屠蘇器揃えなどに加え、今の暮らしの中で楽しめる装身具・ボールペンなど約80点を出品いたします。</p>
11/14(水)～11/19(月)	<p>—彩りの日々— 真重涼香展</p> <p>倉敷芸術科学大学を卒業後、美術作家高橋秀先生が主宰する秀 art studioのスタッフとして地域の美術文化の振興に携わっている版画家・洋画家の真重涼香先生の新作品展です。倉敷芸術科学大学在学中より高橋秀先生の薫陶を受けられ、以来20年以上秀先生・藤田桜先生ご夫妻の芸術をそばに感じつつ創作しておられます。女性視点での自画像シリーズをはじめ、華やかな色彩と大胆な構図の作品制作を通じ、自身の存在を思考模索されておられます。今展ではリノカットを駆使した版画作品を中心に油彩画など約30点を出品いたします。</p>
11/21(水)～11/26(月)	<p>備前陶桜会—咲楽10周年記念展 ～女流作家と備前の器～</p> <p>2008年に結成された備前焼女流陶芸家グループ「咲楽」が10周年を迎えた記念展です。花や料理を引き立てる素朴な備前焼を、日常使いから特別な日まで暮らしに彩りを添える使い方を女性ならではの発想を生かした作品で提案します。約150点を出品いたします。</p> <p>【出品作家】 中平美鈴、福田路子、上堂智子、天野恵、辻多恵、竹崎洋子、横山朋子、土器ことよ</p>
11/28(水)～12/3(月)	<p>—陶・染織・漆・木工展— 自遊工房</p> <p>県内外で活躍されている岡山県在住の四人の作家による展覧会です。伊勢崎創先生(備前焼)、佐藤常子先生(染織)、塩津容子先生(漆芸)、高月国光先生(木工)はいずれも日本工芸会正会員で、それぞれの分野で独自の作風で高い評価を得、輝かしい功績を残されています。各作家20～30点を出品いたします。</p> <p>【出品作家】 伊勢崎創(備前焼)、佐藤常子(染織)、塩津容子(漆芸)、高月国光(木工)</p>

作成：美術画廊担当 国光

営業時間 毎日午後6時閉場

※11/6・13・20・27は閉廊日

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。